

**長浜市図書館基本計画実施プラン  
令和3年度評価書**

**長浜市立図書館**

#### 評価基準

- A:計画以上の取組みをおこない、目標を超える成果があった(100%超え)
- B:おおむね計画に沿って実施し、課題はあるが、目標を達成できた(80%以上~100%)
- C:実施したが、課題が多い(50%以上~80%未満)
- D:ほとんど実施できなかった(50%未満)

## 令和3年度の図書館評価を終えて

平成27年に「長浜市図書館基本計画」を策定して以来、令和2年度評価まで、「基本計画実施プラン」を評価基準として、図書館職員による内部評価と図書館協議会による外部評価の結果を合わせて公表し、市民の審判に供してきた。

令和3年度評価は、令和3年12月に「長浜市図書館基本計画（第2期）」が策定され、スタートしていることもあり、「長浜市図書館基本計画（第2期）」により設定された「長浜市図書館基本計画（第2期）実施プラン」の評価項目をもとに図書館評価を実施することとした。

「長浜市図書館基本計画実施プラン」では令和元年12月の新図書館開館を見越し、85項目の多岐にわたる評価項目を設定し、図書館職員による内部評価、図書館協議会による外部評価をおこなってきたが、評価項目間の重複や評価になじまない項目が含まれていた点を見直し、「第2期」の実施プランでは、5つの大きな目標のもとに20の指標項目を設定し、「第1期」実施プランと比較すると、評価項目を大幅に絞りこんで内部評価、外部評価を実施した。

「第1期」実施プランでは85項目にわたる評価項目を設定したことから、項目間で評価の齟齬が生じたり、ひとつひとつの評価について、図書館職員と図書館協議会で双方の意見交換で十分に議論が深められなかった点があった。通常業務と並行して図書館職員による内部評価作業が余裕をもって実施できたことは大きな改善点である。最終的に評価結果が市民にわかりやすいかたちで伝えられるのではないかと考えている。

令和3年度の評価結果をみると、全体として、A評価、10項目、B評価、5項目、C評価、5項目、D評価、ゼロという結果であった。「長浜市図書館基本計画（第2期）」に沿った図書館運営ではコロナ禍が続くなかでの図書館職員の図書館運営・サービスに対する真摯な取り組みが外部評価を実施するなかで大きく評価されたことによるものと考えている。

令和元年12月の新館開館後、令和2年度は本来なら新図書館の大幅な利用増に支えられ、「目標1：市民に役立つ図書館」を強烈にアピールできるところであったが、令和3年度もコロナ禍の継続による社会全体の様々な自粛ムードが大きく影響し、市民の図書館利用が予想以上に振るわなかった点は返す返すも残念である。

しかし、令和4年度もコロナ禍の収束が見込めない見通しであることを考えると、「目標1：市民に役立つ図書館」の目標達成を「長浜市図書館基本計画（第2期）」年度内にどのような方策で実現するかについて考えることは次年度評価に向けての大きな課題である。

また、「目標2：誰もが利用できる図書館」では複数の指標項目でC評価となった。「目標1」とも大きな関係する指標項目であり、「第1期計画」で今後の課題として指摘された、長浜市全域の市民に対するサービスのあり方について、早急な取り組みが求められるところである。

本年度は新たな指標項目による最初の評価であるが、この評価が図書館職員全体、市の関係部門によって共有され、広く市民にも理解と支持を得て、「長浜市図書館基本計画（第2期）」が本市図書館事業の一層の進展に有効に活かされることを切望する。

図書館基本計画実施プラン 評価シート

【目標1】市民の役に立つ図書館

		令和3年度目標値	令和3年度実績	
指標項目	1	個人貸出冊数	900,000冊	870,578冊
重点的に取り組んだ項目	効率的な選書・職員の選書力向上		令和3年度達成状況	
成果	貸出統計を分析し、全館の利用傾向を把握するため職員の意見を集約（新刊リストの全員回覧、館からの個別のリクエスト）し、選書会議で計画的に資料を選書しました。勤務年数5年未満の職員9人を対象に、選書の基礎講習をのべ18回実施しました。		C	
課題	図書館全体としてはバランスよく資料を収集できましたが、6図書館に配本すると館によっては偏りや不足が生じました。各図書館への配本をバランスよくおこなう仕組みをつくるのが課題です。			
委員意見	新刊を中心に、着実に資料が入ってきている。中央図書館である長浜館にはやや専門的なものも配本し、地域館に比べて偏りがあるのは理解できる。引き続き、特集展示などで本に出会うきっかけをつくってほしい。		外部評価	
			B	

		令和3年度目標値	令和3年度実績	
指標項目	2	予約・リクエスト年間受付件数	156,500件	179,971件
重点的に取り組んだ項目	リクエスト資料の速やかな提供		令和3年度達成状況	
成果	リクエスト資料を購入するか借受するか判断を受付当日におこなうよう見直したことで、リクエスト資料の受取までの時間を短縮することができました。また、予約件数10件に1冊の複本購入、提供待ち3か月以上の資料も複本を追加することで、予約待ち時間を短縮することができました。		A	
課題	一定期間が過ぎると利用が少なくなる資料が多く、複本購入の判断をどのようにするかが課題です。また、購入か借受かの即時判断は知識と経験が必要ですので、職員の育成が課題です。			
委員意見	複本購入にあたって一定のルールを設けているのはよい。まだまだ予約やリクエストサービスを知らない利用者があるので周知していくことと、気軽に尋ねられるよう、職員がもっとフロアにいてほしい。		外部評価	
			A	

		令和3年度目標値	令和3年度実績
指標項目	3	自主講座や展示の年間開催数	10回
重点的に取り組んだ項目	学習や市民活動の契機となる講座や展示の開催		令和3年度達成状況
成果	自主講座(=主催)の内訳は音訳講座6回と展示6回(曳山祭・教科書・男女共同参画など)です。市民の興味関心を広げ、知識を深めることができる内容を中心に開催しました。		A
課題	コロナ禍で、大勢の人を集めた講座は難しく、新規の講座ができませんでした。様々な状況下でも対応できるよう、職員の企画力・選書力を磨き、図書館ならではの講座や資料を活かした展示を開催することが必要です。		
委員意見	市民の興味関心を引く様々な展示を数多く行っている印象がある。まちづくりセンターや施設が開催する展示に理解を深める資料を添えるなど、臨機応変に対応できている。		外部評価
			A

		令和3年度目標値	令和3年度実績
指標項目	4	レファレンス事例のHP公開数	10件
重点的に取り組んだ項目	事例集(地域編と一般編)の公開		令和3年度達成状況
成果	地域編4件、一般編4件をHPに公開しました。レファレンスの年間処理件数は169件でした。勤務年数5年未満の職員9人に、レファレンスインタビュー講習をのべ18回実施しました。職員全員を対象にした研修を3回(インタビュー、基礎編、演習編)実施しました。総合的にレファレンスサービス力を強化したことにより、前年度の処理件数より60件増となりました。		B
課題	単なる事例を公表するだけでなく、利用者が活用できるよう、調査の道しるべとなる事例の公開と内容の精査が課題です。また、レファレンスサービスを知らない市民も多くその周知が課題です。		
委員意見	職員の養成は大事なことである。質問に対する共通の受付用紙を作って、その後の処理や入力まで一本化するなど工夫もされている。		外部評価
			B

図書館基本計画実施プラン 評価シート

【目標2】だれもが利用できる図書館

		令和3年度目標値	令和3年度実績
指標項目	1	実利用者数	14.8 %
重点的に取り組んだ項目	市民に向けた図書館サービスの周知		令和3年度達成状況
成果	市の広報誌で巻頭に図書館を特集しました。この中で、図書館の多様なサービスを紹介し、さまざまなニーズに合った図書館の使い方を提案できました。		C
課題	未利用者の掘り起こしをするために、幅広い層への周知を継続する必要があります。		
委員意見	他市の事例から取り入れやすい方法を模索するなど、これまで行ってきた事業とは異なるアプローチを検討してほしい。		外部評価
			C

		令和3年度目標値	令和3年度実績
指標項目	2	郵送・貸出点数	160 点
重点的に取り組んだ項目	非来館型サービスの充実		令和3年度達成状況
成果	図書館に行くことができないが借りたい資料があるときに利用できる「宅配サービス」を開始しました。利用実績はありませんが、今まで図書館を利用しなかった(できなかった)人の利用を促すことができます。しょうがい者への郵送貸出は、貸出点数が減少しました。		C
課題	資料や情報を届けることができる郵送貸出や宅配サービスを、必要とする人に周知するために、市の関係課や関連団体との連携・協力をさらに進めることが重要です。		
委員意見	郵送貸出の利用者が、電子図書館などインターネットのサービスを利用することが多くなったことも貸出点数の減少の原因のひとつと思われる。「図書館ができること」をもっと宣伝して欲しい。		外部評価
			C

		令和3年度目標値	令和3年度実績
指標項目	3	関係課や機関と連携した年間事業数	4 件
重点的に取り組んだ項目	庁内各課や関連機関と積極的に連携・協力した事業実施		令和3年度達成状況
成果	他の機関と連携することによって、さまざまな情報を本以外の媒体なども使って発信することができました。図書館で展示することの効果を見込んで、共催展示の依頼も増えました。図書館で見たチラシで市の相談窓口にたどり着いた人や、博物館・資料館に行った人がありました。		A
課題	発信したい事柄を協働で実行できる機関と連携し、展示以外にも幅広い事業を展開していくことが必要です。		
委員意見	大幅な件数の増加は、図書館と連携することの効果が年々出てきた成果である。これからも、市民に役立つ事業を実施してほしい。		外部評価
			A

図書館基本計画実施プラン 評価シート

【目標3】子どもが本と親しめる図書館

		令和3年度目標値	令和3年度実績
指標項目	1	園への団体貸出数	500冊
重点的に取り組んだ項目	読み聞かせ環境の整備などの園支援		令和3年度達成状況
成果	年度初めに園へ図書館の団体貸出などのサービスを案内し、園用団体貸出申込書の利用が増えました。		A
課題	保育者の異動があるので、図書館の団体貸出制度について、今までに受けた依頼とともに紹介して、保育に役立つサービスであることを繰り返し案内していく必要があります。		
委員意見	団体貸出制度が広く利用されるよう、過去の利用テーマを事例としてお知らせするなど引き続き案内に努めてほしい。また、園の読書環境を把握することで、さらに必要な支援をおこなうことができるのではないか。		外部評価
			A

		令和3年度目標値	令和3年度実績
指標項目	2	小学4～6年生の1か月間の読書冊数が1冊以下	8.5%
重点的に取り組んだ項目	子どもへの読書活動推進		令和3年度達成状況
成果	4月23日のこども読書の日に合わせて、この前後に市の「けやきっ子読書の日」(毎月第3日曜日)を啓発する行事をおこないました(参加者293人)。コロナ禍でおはなし会を中止した時期もありましたが、屋外でテーマを設けたおはなし会を開催して、本に親しむ機会を作りました。学校(学級)の臨時休校が相次いだときは、感染リスク軽減のため、短い滞在時間で必要な本を借りていただけるよう「本のオーダーパックサービス」を開始するなど工夫して、安心して利用できる取組を始めました(利用件数3件)		C
課題	引き続き、子どもを取り巻く状況に寄り添った、柔軟なサービスをしていくことが求められています。また、学校や子どもに本を届ける大人への支援も継続する必要があります。		
委員意見	数値の背景を分析して、家庭・地域・学校などを巻き込んで取組を進めてほしい。		外部評価
			C

		令和3年度目標値	令和3年度実績
指標項目	3	中学1～3年生の1か月間の読書冊数が1冊以下	30 %
重点的に取り組んだ項目	学校や各機関と連携した子どもへの読書推進		令和3年度達成状況
成果	学級巡回文庫で届けている本がよく利用されている様子を学校から聞くことができました。滋賀文教短期大学と連携して実施している、おすすめの本をPOPなどで紹介するコンクールの実施も5年目を迎え、定着しました。応募が過去最高の点数(570点)でした。		B
課題	読書離れが顕著な年代に、読書のおもしろさや楽しさを伝えるアプローチが求められます。そのために、中学生が参加できる機会を増やすことが必要です。		
委員意見	複合施設の利用者(部屋の利用者など)を取り込む工夫や仕掛けをして、少しでも図書館への来館者を増やしてほしい。		外部評価
			B

		令和3年度目標値	令和3年度実績
指標項目	4	13～18歳の利用者への貸出冊数	38,000 冊
重点的に取り組んだ項目	YA世代に向けて、読書意欲を喚起する取組強化		令和3年度達成状況
成果	「びわ湖東北部地域連携プラットフォーム事業」として、近隣の大学や図書館と連携して、広域で読書推進のための事業を展開しました。大学生が同世代に向けて事業を企画し、これまでにない視点で本の特集展示ができました。		B
課題	さまざまな事業が、それを目的やきっかけにした来館や10代の利用者の貸出にはつながりませんでした。若者世代に届く広報の方法で、貸出や読書の習慣につながる事業をしていくことが必要です。		
委員意見	市内の大学に市立図書館の利用案内を置いてもらうなど機会と場所を捉えて、これまで以上にPRに努めてほしい。		外部評価
			B

図書館基本計画実施プラン 評価シート

【目標4】まちの魅力を発信し、地域の文化的な拠点となる図書館

		令和3年度目標値	令和3年度実績
指標項目	1	デジタルアーカイブ資料数 0 点	0 点
重点的に取り組んだ項目	現システムでデジタル化の検討		令和3年度達成状況
成果	簡単な画像データなら書誌情報として資料に付与できるので試行的にチラシやパンフレットなどからデジタル化できないか検討しました。 また地域資料をPDF化して直接図書館HPに掲載することも検討しました。		C
課題	デジタル化をすすめるために、様々な方法を試行して問題点などを洗い出す必要があります。		
委員意見	市立図書館としてめざすところ、対象資料や活用方法などを改めて検討のうえ、進めてほしい。		外部評価
			C

		令和3年度目標値	令和3年度実績
指標項目	2	博物館や資料館と連携した年間事業数 2 回	2 回
重点的に取り組んだ項目	博物館や資料館の事業と関連付けた資料提供		令和3年度達成状況
成果	市内小学生を対象とした自由研究コンクール（長浜城H-Iグランプリ）を博物館と共催し、地域資料の提供や優秀作品の展示を続けています（10年目）。今年度、図書館の資料を使って研究した作品が入賞しました。子どもだけではなく、市民が地域の歴史に興味を持つきっかけにもなっています。		A
課題	長浜城H-Iグランプリは毎年開催される人気の企画ですが、10年が経過したこともあり、新しい共催の仕方を探り、市民に地域資料を保存したり提供したりする図書館の役割をさらにアピールする必要があります。		
委員意見	図書館と博物館が共に高い目標に向かって取組みを進めていることがよく分かった。司書と学芸員のつながりがレファレンスに活かされるなど、連携もできている。		外部評価
			A

図書館基本計画実施プラン 評価シート

【目標5】市民とともにつくる図書館

		令和3年度目標値	令和3年度実績
指標項目	1	市民との協働事業の年間開催数	1回
重点的に取り組んだ項目	ボランティア活動の支援		令和3年度達成状況
成果	音訳ボランティアが視覚しょうがい者への対面朗読の準備や練習をする会の発足をサポートしました。以降、自主的な活動につながりました。		A
課題	図書館を舞台に生きがいや充実感を得られるよう、市民の活動を支援し、ともに成長できるよう、その支援を継続していくことが大切です。		
委員意見	単に1回の開催ではなく、ボランティアが意欲をもって自主的に毎月活動しているのは素晴らしい。ぜひ支援を継続してほしい。		外部評価
			A

		令和3年度目標値	令和3年度実績
指標項目	2	登録ボランティア数	45人
重点的に取り組んだ項目	市民の図書館運営への参画の促進		令和3年度達成状況
成果	新型コロナウイルス感染拡大の年でしたが、登録者数は昨年度に比べ微増しました（R2年度39人）。活動を控えていただいた時期もありましたが、充実感のある活動を継続してもらえるよう工夫することで、続けてくださる方もおられました。（ボランティア人数：業務50人、音訳33人、ブックスタート5人、合計88人。おはなしボランティア：8グループ）		A
課題	応募いただいたボランティアが喜びをもって活動し、図書館により親しみを感じてもらえるように、全職員がボランティア活動の意義を理解し、活動を支援できる体制をつくる必要があります。		
委員意見	たくさんの市民に関わってもらいながら、図書館運営ができています。広報ながはま令和4年3月号に図書館のボランティア活動が大きく特集されていたのも大変よかったです。		外部評価
			A

		令和3年度目標値	令和3年度実績
指標項目	3	市民の展示や活動発表の場の年間提供数	3回
重点的に取り組んだ項目	個人や団体に発表の場の提供		令和3年度達成状況
成果	長浜図書館で2回(まちづくりセンターの作品展示・長浜小学校の創立150周年記念展)、びわ図書館で1回(びわ中学校生徒の美術展)を開催しました。地元密着の展示や発表は市民の関心も高く、関連資料の貸出につながりました。		A
課題	市内全域で発表の場を提供するために、6図書館で年に1回程度開催できるよう、市民とのつながりや、場の提供ができることの周知が必要です。		
委員意見	図書館で展示ができることや図書館という場所が持つ魅力をうまく発信して、さらなる活用につなげてほしい。		外部評価
			A

図書館基本計画実施プラン 評価シート

1. 市民の身近に図書館サービスがある体制づくり

		令和3年度目標値	令和3年度実績
指標項目	I	サービスポイント数	3点
重点的に取り組んだ項目	サービスポイントについての検討		令和3年度達成状況
成果	サービスポイントや移動図書館について、他市の事例を収集しました。		B
課題	引き続き、サービスポイントや移動図書館について、情報収集することが必要です。		
委員意見	継続して検討することが大事である。サービスポイントのあり方や移動図書館の可能性など、ねらいや目標を定めて取り組んでほしい。		外部評価
			B

2. 全体規模と各図書館の役割の見直し

		令和3年度目標値	令和3年度実績
指標項目	I	蔵書更新率	6%
重点的に取り組んだ項目	蔵書の適正化・資料の除籍		令和3年度達成状況
成果	蔵書の適正化を目指し、資料の選別を進めました。重複資料や経年で資料価値の低くなったものを除籍しました。		A
課題	引き続き、地域館において確実に資料を除籍しながら、見やすく魅力的な棚づくりをしていく必要があります。		
委員意見	少しずつだが、見やすく、取り出しやすい本の並べ方になってきている。引き続き、魅力的な書架づくりに取り組んでほしい。		外部評価
			A

### 3.質の高い図書館サービスの継続的な提供

		令和3年度目標値	令和3年度実績
指標項目	1	専門研修の年間受講者のべ人数	20 人
重点的に取り組んだ項目	研修への参加促進		令和3年度達成状況
成果	<p>○文部科学省・国立大学法人筑波大学主催：館長研修2人</p> <p>○滋賀県立図書館主催：前期専門講座1名、後期専門講座2人、専門分野実務研修30人、ステップアップ研修2人</p> <p>○全国公共図書館研究集会39人</p> <p>リモートによる参加や動画などの視聴により特定の職員だけでなく多くの職員が参加でき、先進事例を学ぶことができました。</p>		A
課題	遠隔地で実施される研修にリモートで参加したことで飛躍的に研修への参加が伸びました。しかし、リモート研修の特性でどうしても一方的な座学となります。主体的な取組やワークショップ・グループワークなどをどう補っていくのが課題となります。		
委員意見	国の専門研修などにも積極的に参加し、研修をつうじて人材育成に取り組んでほしい。		外部評価
			A

		令和3年度目標値	令和3年度実績
指標項目	2	報道機関への年間情報提供数	45 件
重点的に取り組んだ項目	情報発信		令和3年度達成状況
成果	<p>定例行事を中止した期間があり、プレスリリースの機会は減りました。しかし、新しい取組を中心に、報道機関へ情報提供した案件は7割が新聞などに掲載してもらえました。</p>		C
課題	より多くのプレスリリースを目指しながら、取り上げてもらえるような内容・シートづくりをしていく必要があります。また、即効性をもたせるために、図書館ホームページの活用やSNSの導入を検討していくことも必要です。		
委員意見	活字離れが進む若い世代に向けて、情報を届けられる方法を模索してほしい。また、図書館ホームページの内容充実に努めてほしい。		外部評価
			C